D2 ケーヨーデイツー

2020年2月期第2四半期
決 算 説 明 会

2019年10月2日

株式会社 ケーヨー

（東証1部：証券ｺｰﾄﾞ　8168）

1.業績の概要

（単位：百万円）

	2018/2期				2019/2期				2020/2期		
	第2四半期	売上比	年計	売上比	第2四半期	売上比	年計	売上比	第2四半期	前年比	売上比
売上高	71,697	-	132,191	-	60,952	-	114,838	-	55,555	91.1%	-
荒利益高	21,629	30.2%	40,888	30.9%	19,491	32.0%	37,031	32.2%	18,685	95.9%	33.6%
経費高	20,102	28.0%	39,358	29.8%	19,453	31.9%	38,591	33.6%	18,408	94.6%	33.1%
営業利益高	1,526	2.1%	1,530	1.2%	37	0.1%	△ 1,560	-	276	729.9%	0.5%
経常利益高	1,929	2.7%	2,450	1.9%	436	0.7%	△ 753	-	650	148.9%	1.2%
当期純利益高	1,169	1.6%	1,296	1.0%	△ 312	-	342	0.3%	1,124	-	2.0%

2.売上高の状況①《新店・閉店・改装の状況》

出店・閉店推移（出店 1、閉店 3店舗）

（単位：店）

	18/2期			19/2期			20/2期
	上期	下期	年計	上期	下期	年計	上期
出店	0	1	1	0	0	0	1
閉店	3	0	3	0	4	4	3
店舗数	180	181	181	181	177	177	175
店内売場平均面積（坪）	1,034	1,035	1,035	1,035	1,041	1,041	1,028

新規出店 1店舗

店名	都道府県	オープン日	店内面積（坪）
高塚店	千葉県	3月21日	495

3月21日オープン　高塚店

千葉県松戸市高塚新田247-91

閉店 3店舗

店名	都道府県	閉店日	店内面積（坪）
新港店	千葉県	6月30日	936
新竜ヶ崎店	茨城県	7月15日	2,033
籠原店	埼玉県	7月28日	1,011

全面改装 20店舗

3.売上高の状況②《商品動向》

月次推移

全店	3月	4月	5月	1Q計	6月	7月	8月	2Q計	上期累計
売上高	△8.7%	△13.9%	△7.8%	△10.2%	△8.4%	△13.0%	0.2%	△7.3%	△8.9%
客数	△11.7%	△16.3%	△8.3%	△12.1%	△10.0%	△12.2%	△6.5%	△9.7%	△10.9%
客単価	3.5%	2.9%	0.6%	2.1%	1.8%	△0.9%	7.2%	2.6%	2.4%

既存店	3月	4月	5月	1Q計	6月	7月	8月	2Q計	上期累計
売上高	△7.8%	△12.5%	△6.2%	△8.9%	△6.9%	△13.1%	2.8%	△6.0%	△7.5%
客数	△10.7%	△15.1%	△6.9%	△10.8%	△8.6%	△11.7%	△4.1%	△8.2%	△9.6%
客単価	3.2%	3.1%	0.7%	2.2%	1.8%	△1.6%	7.1%	2.4%	2.3%

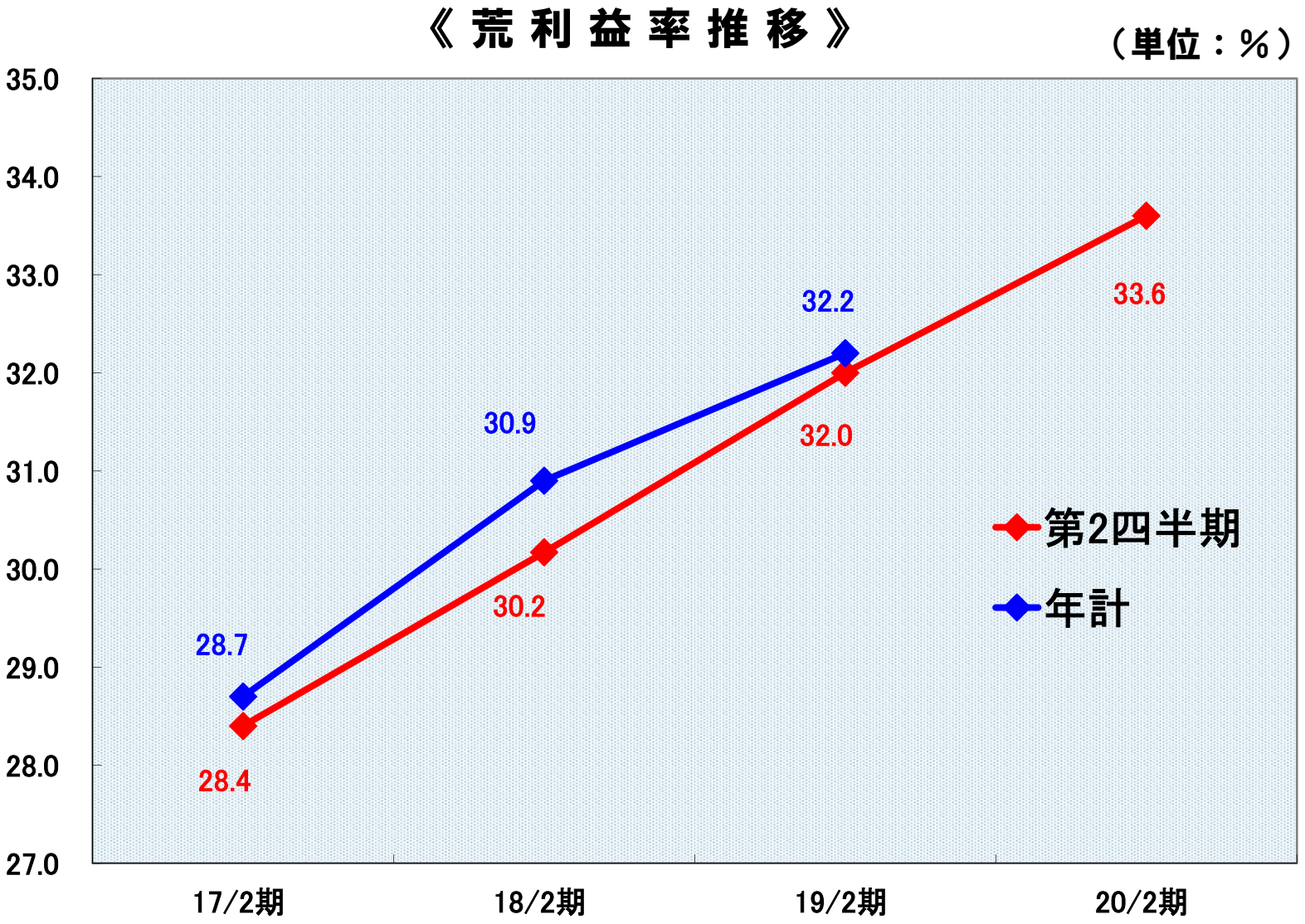
セグメント別動向

（単位：百万円）

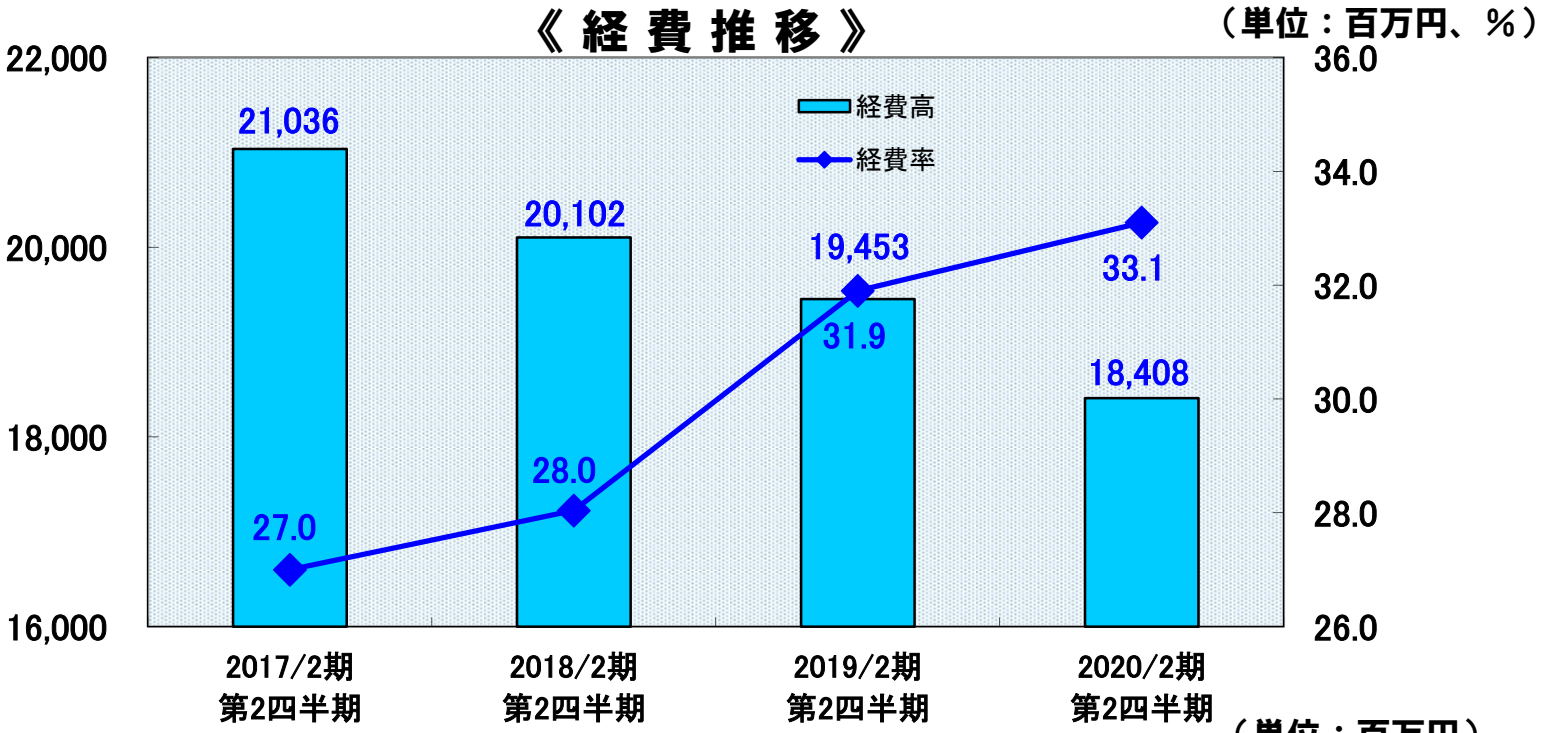
	2019/2期		2020/2期		
	第2四半期	構成比	第2四半期	前年比	構成比
園芸	12,466	20.5%	11,371	91.2%	20.5%
ホームインプルーブメント	8,829	14.5%	8,417	95.3%	15.1%
ホームレジャー・ペット	9,058	14.9%	8,408	92.8%	15.1%
ハウスキーピング	19,379	31.8%	17,072	88.1%	30.7%
ホームファニシング	4,356	7.1%	3,805	82.2%	6.9%
ホームエレクトロニクス	6,308	10.3%	5,821	92.3%	10.5%
その他	552	0.9%	658	157.1%	1.2%
合計	60,952	100.0%	55,555	91.1%	100.0%

※第1四半期より商品区分を一部変更したため、前年比較にあたっては、
前第2四半期実績値を変更後の区分に組替えて表示しております。

4.荒利益率の状況


《荒利益率推移》
（単位：％）
35.0
34.0
33.0
32.0
31.0
30.0
29.0
28.0
27.0
28.7
30.9
32.2
28.4
30.2
32.0
33.6
第2四半期
年計
17/2期
18/2期
19/2期
20/2期

5.経費の状況



（単位：百万円）

	2019/2期 第2四半期	2020/2期 第2四半期	前年差	前年比
広告宣伝費	1,128	859	-268	76.2%
給料及び手当	6,581	6,140	-440	93.3%
不動産賃借料	6,039	5,770	-269	95.5%
減価償却費	724	866	+141	119.6%
その他	4,980	4,771	-208	95.8%
経費高計	19,453	18,408	-1,045	94.6%

6.利益の状況

（単位：百万円）

	2018/2期				2019/2期				2020/2期	
	第2四半期	前年比	年計	前年比	第2四半期	前年比	年計	前年比	第2四半期	前年比
営業利益高	1,526	141.9%	1,530	114.7%	37	2.5%	△ 1560	-	276	729.9%
経常利益高	1,929	123.8%	2,450	110.9%	436	22.6%	△ 753	-	650	148.9%
特別損益	△111	-	△632	-	△820	-	948	-	1,091	-
税金等調整前当期純利益高	1,818	129.2%	1,817	90.9%	△ 383	-	195	10.7%	1,741	-
法人税等	649	122.3%	521	66.4%	△ 71	-	△ 147	-	616	-
当期純利益高	1,169	133.3%	1,296	106.6%	△ 312	-	342	26.4%	1,124	-

※特別損益　1,091百万円

〈特別利益〉1,891百万円

・投資有価証券売却益 1,891百万円

〈特別損失〉800百万円

・店舗閉鎖損失　284百万円、減損損失　450百万円 他

7.貸借対照表の状況

（単位：百万円）

資産の部	19/2期		20/2期
	第2四半期	年計	第2四半期
現金および預金	6,823	6,777	8,167
商品	25,167	25,388	25,819
流動資産	36,576	35,938	37,976
有形固定資産	21,462	21,571	21,549
無形固定資産	1,327	1,204	1,131
投資その他の資産	25,867	22,428	20,523
固定資産	48,656	45,204	43,204
資産合計	85,233	81,142	81,181

負債・純資産の部	19/2期		20/2期
	第2四半期	年計	第2四半期
買掛金	12,776	9,931	12,607
短期借入金	6,702	3,952	3,467
流動負債	24,810	18,426	21,750
長期借入金	9,290	13,695	12,202
固定負債	16,771	20,834	19,632
負債合計	41,581	39,261	41,383
株主資本	37,756	38,003	38,720
評価・換算差額等	5,895	3,877	1,077
純資産合計	43,651	41,881	39,798
負債純資産合計	85,233	81,142	81,181

8.キャッシュフロー等の状況

（単位：百万円）

	19/2期		20/2期
	第2四半期	年計	第2四半期
設備投資	789	1,930	1,291
（前年差）	（+606）	（+601）	（+501）
有利子負債	15,992	17,647	15,670
（前年差）	（-5,665）	（-3,001）	（-322）
自己資本比率	51.4%	51.6%	49.0%
D/Eレシオ	0.41	0.42	0.39

	19/2期		20/2期
	第2四半期	年計	第2四半期
営業CF	4,848	1,040	3,988
（前年差）	（-2,150）	（-4,096）	（-860）
投資CF	△ 30	2,836	162
（前年差）	（-343）	（+2,898）	（+192）
フリーCF	4,818	3,876	4,150
（前年差）	（-2,493）	（-1,197）	（-668）
財務CF	△ 5,378	△ 4,482	△ 2,760
（前年差）	（-1,074）	（+1,540）	（+2,617）

9.業績予想

（単位：百万円）

	19/2期				20/2期			
	2Q	前年比	年計	前年比	2Q	前年比	通期予想	前年比
売上高	60,952	85.0%	114,838	86.9%	55,555	91.1%	107,600	93.7%
営業利益	37	2.5%	△ 1,560	-	276	729.9%	0	-
経常利益	436	22.6%	△ 753	-	650	148.9%	700	-
当期純利益	△ 312	-	342	26.4%	1,124	-	800	233.6%

※上記の数値は19年9月27日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、
実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

《下期 前提条件》

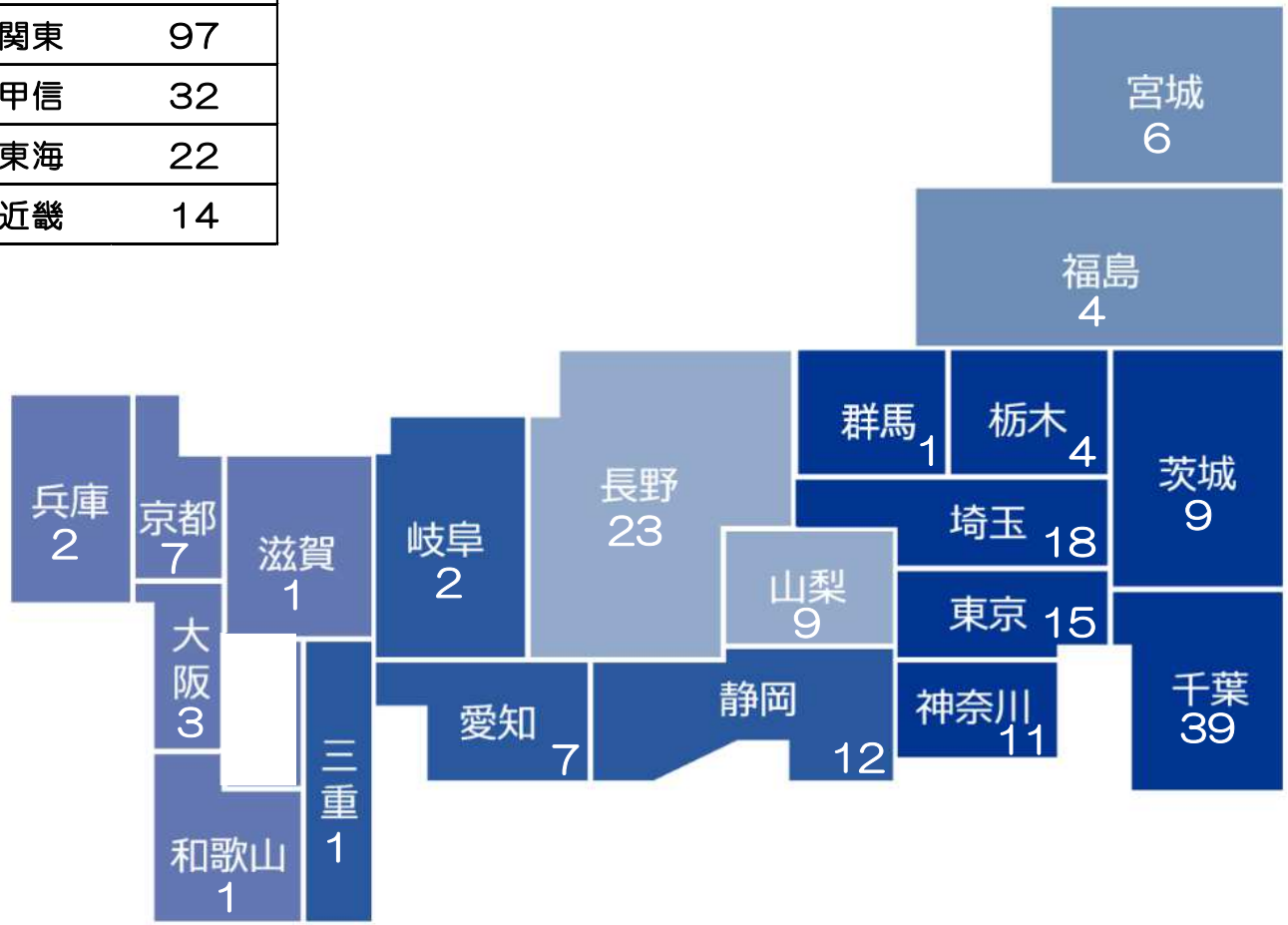
- 閉店3店舗見込
- DCM棚割導入全面改装 14店舗
- 既存店売上高 100.0%
- 荒利益率 33.8%　前年差 +1.25%
- 経費率 34.3%　前年差 -1.2%
- 特別損益 約500百万円

10.店舗の状況

《19年８月末現在》

店舗数（全店）	175
東北	10
関東	97
甲信	32
東海	22
近畿	14

県別店舗数



参考資料

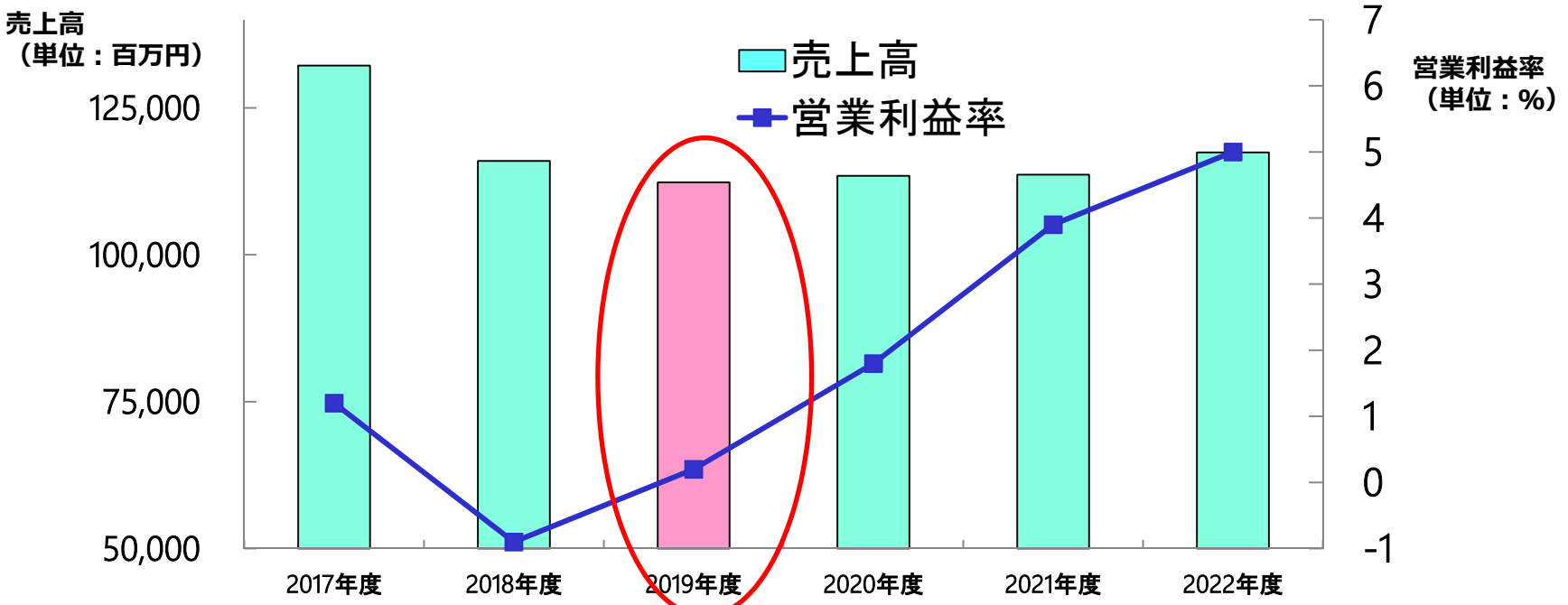
2019年度の位置づけ

D2ケーヨーデイツー

2022年度を最終年度とした中期経営計画

売上高 1,170億円 営業利益率 5.0%

DCM改装は、計画に沿って進行中
改装コストにより損益は厳しいが、V字回復に向け駆け上がる第１歩の年



ＤＣＭ化の進捗

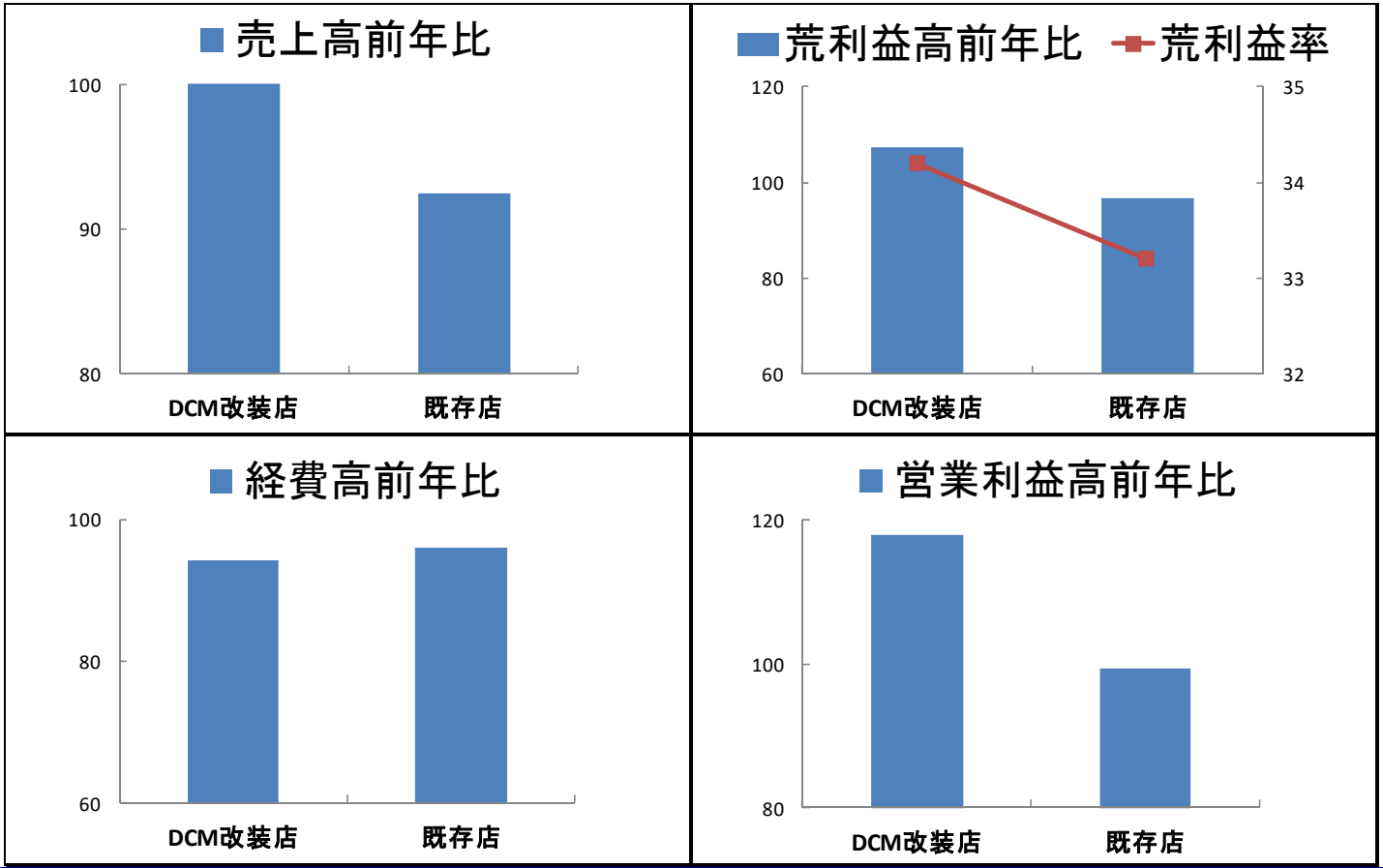
改装効果の最大化を図るために、
改装店舗の選定、時期を計画し、順調に進捗

	2017年度	2018年度	2019年度（見込み）	2020年度（見込み）
商品入替	74.0%	86.7%	完了予定	–
全部門改装	–	15	–	–
全面改装	5	15	34	30前後
新規出店	1	–	1	–
完全導入済店舗数累計	6	36	71	約101

※2021年度以降、年間10店舗程度（平年レベル）

ＤＣＭ改装効果

荒利益率の改善により、営業利益も改善
課題は、経費構造をDCMに近づけること

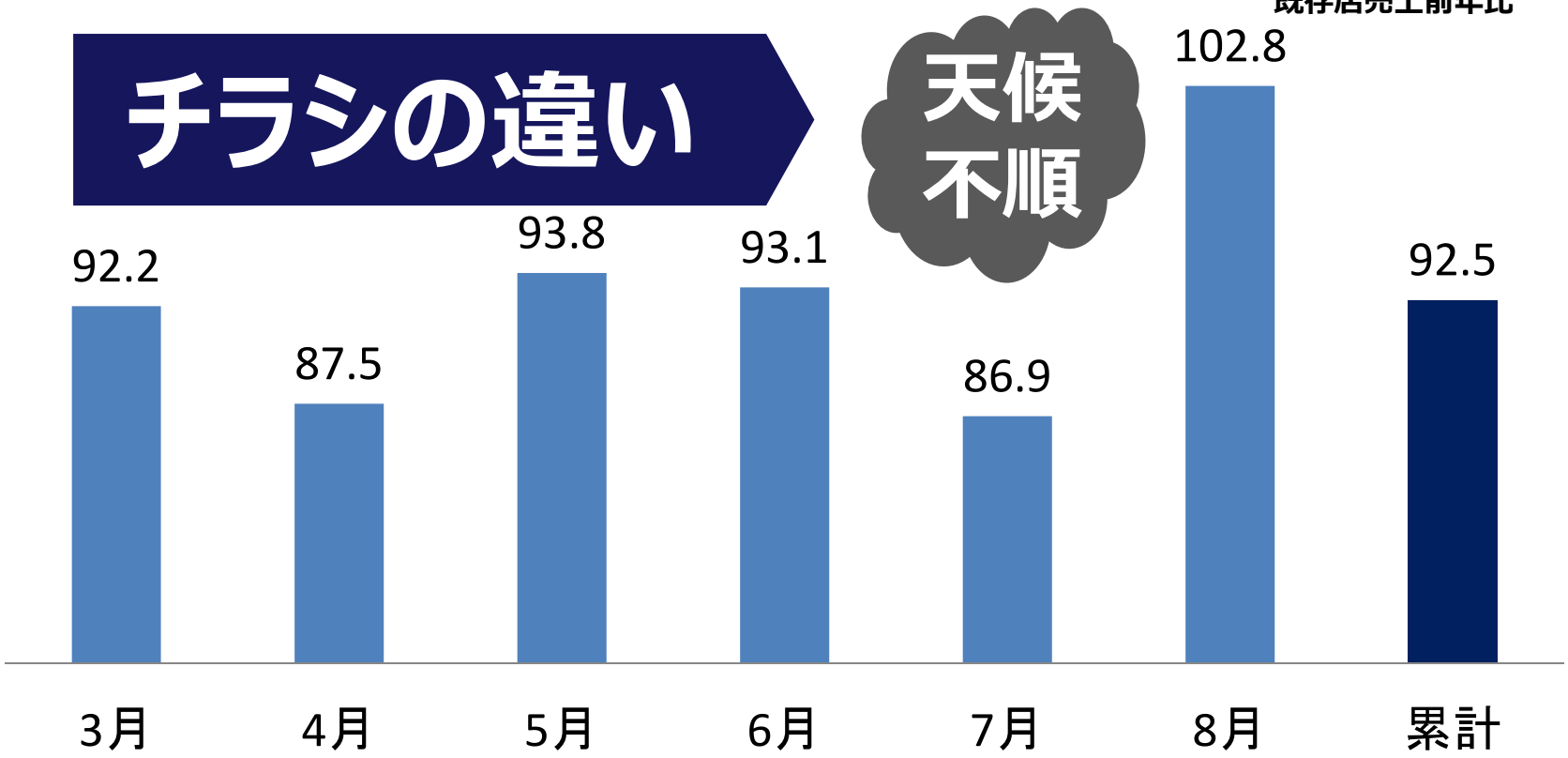


販売面の進捗　売上高

D2ケーヨーデイツー

第2四半期売上高は、概ね想定内で推移
７月の天候不順が想定外であった。

既存店売上前年比

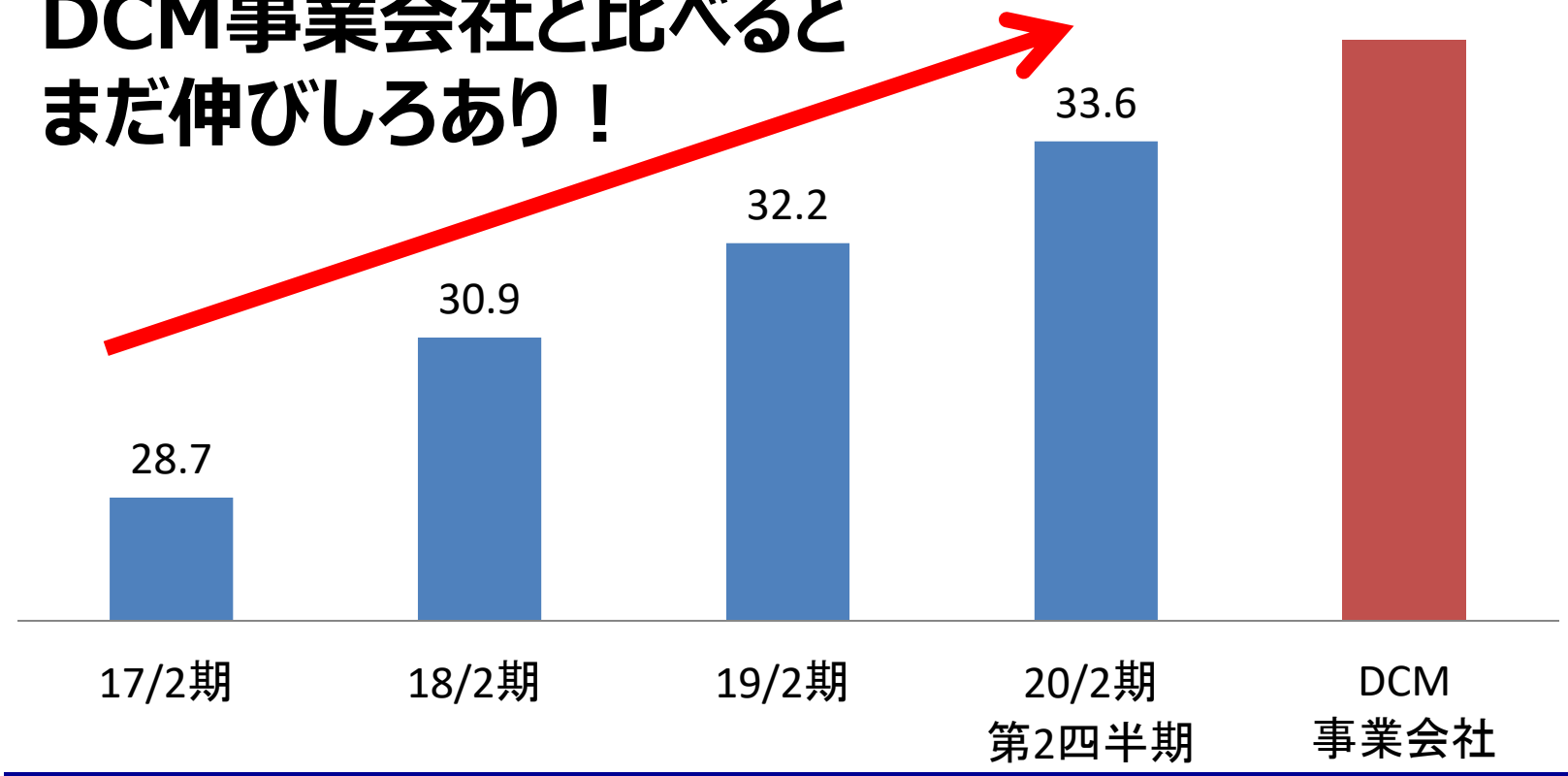


販売面の進捗　荒利益

D2ケーヨーデイツー

荒利益率が想定以上に改善
第２四半期　33.68%　前年差+1.65%

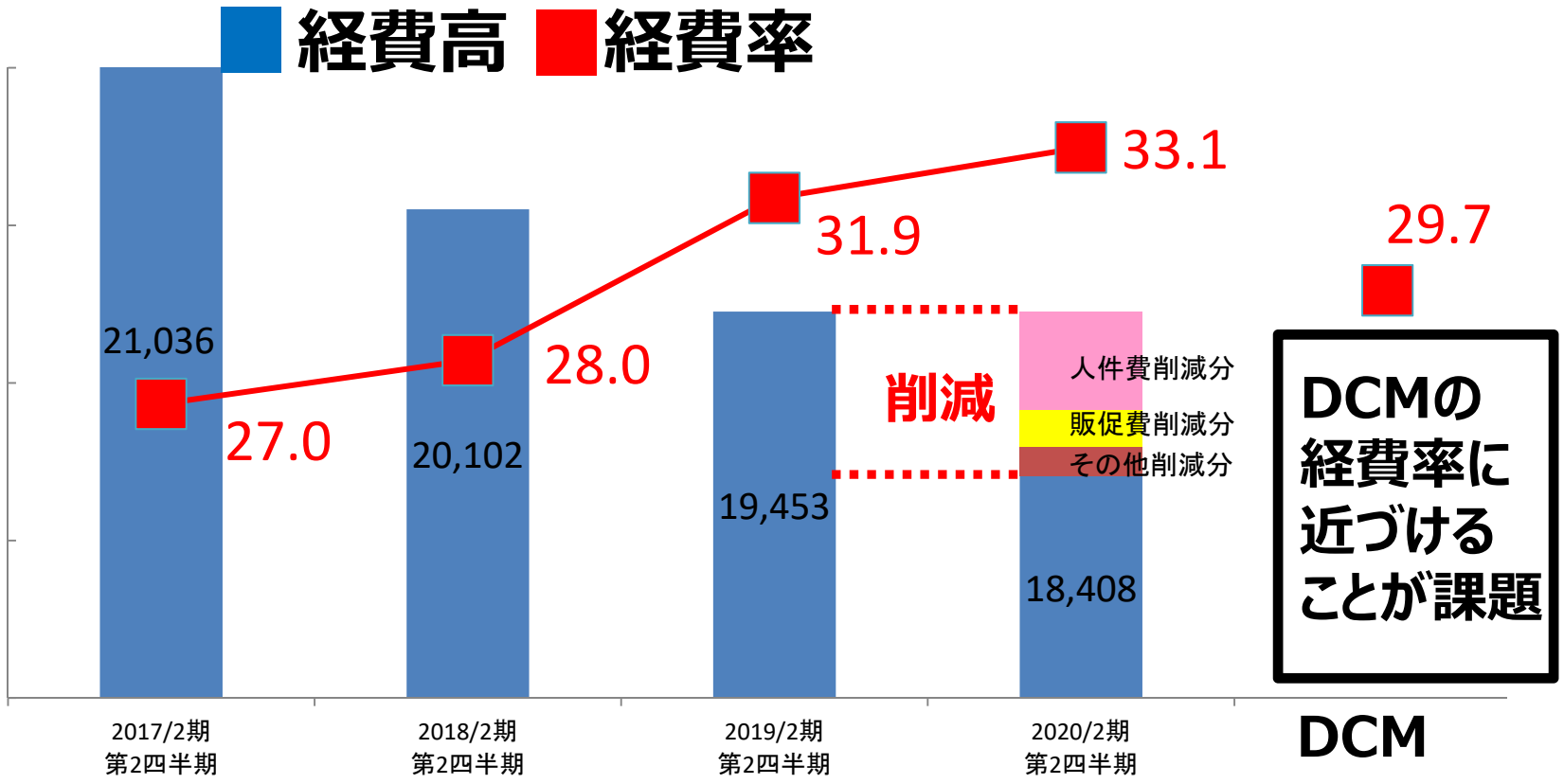
DCM事業会社と比べると
まだ伸びしろあり！



販売面の進捗　経費

D2ケーヨーデイツー

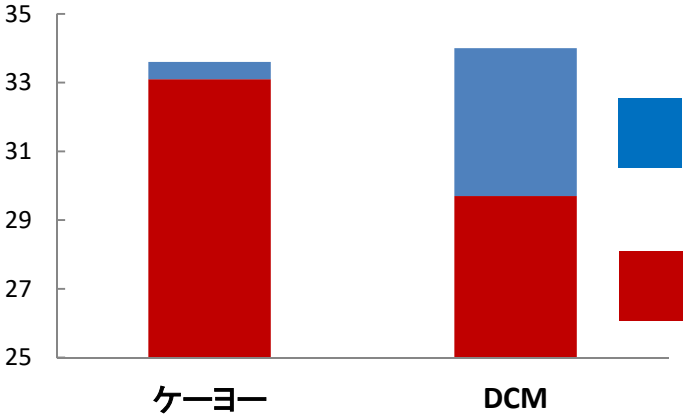
改装加速化による改装コストの増加以上に経費削減に成功



今後の課題①

D2ケーヨーデイツー

課題：DCMとの利益構造の違い



荒利益率：ケーヨー＜DCM

経費率：ケーヨー＞DCM

商品入替、全面改装 → 荒利改善！

人件費、広告宣伝費削減 +α → 経費改善！

店舗業務統合プロジェクト発足

今後の課題②

D2ケーヨーデイツー

課題：改装効果の創出しにくい店舗

約110店舗

改装前
ケーヨーD2

→

改装後
DCM化へ

約60店舗

ケーヨーD2

→

商品統合

ゾーニングが近いため商品入替で終了

店規模・収益に課題

課題店舗

都市部の小型店では商品統合だけでなく工夫が必要

適正規模 ＋α

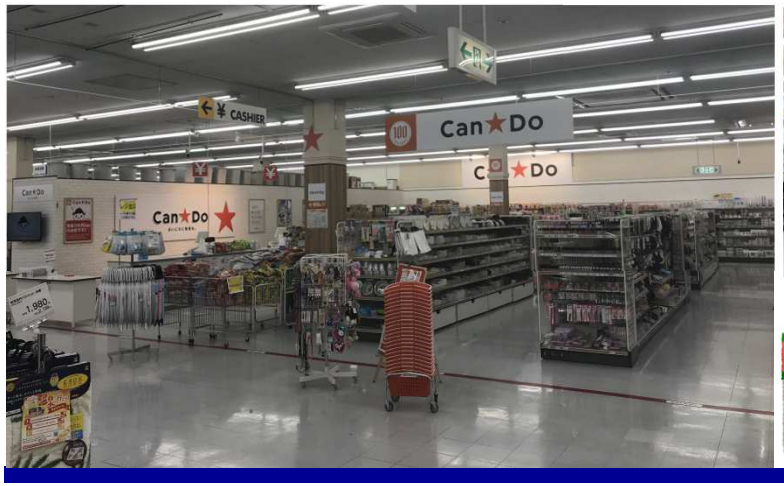
商品統合 ＋α

今後の課題②（+α①）

D2ケーヨーデイツー

店舗スペースの活用

別業態とのマッチング（100円ショップ・ＤｇＳなど）



ｅｔｃ･･･

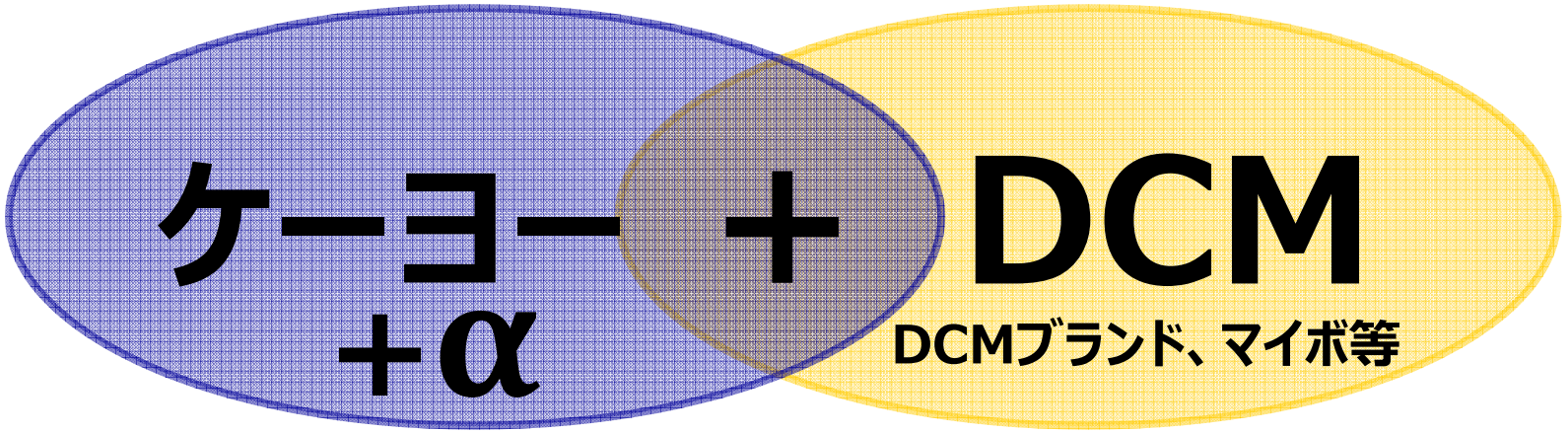
今後の課題②（＋α②）

D2ケーヨーデイツー

独自の取り組み＋

地域対応・サービス充実（お手伝い・お届けサービスなど）

今後の方向性



シナジー＋αにより、利便性をさらに向上させる

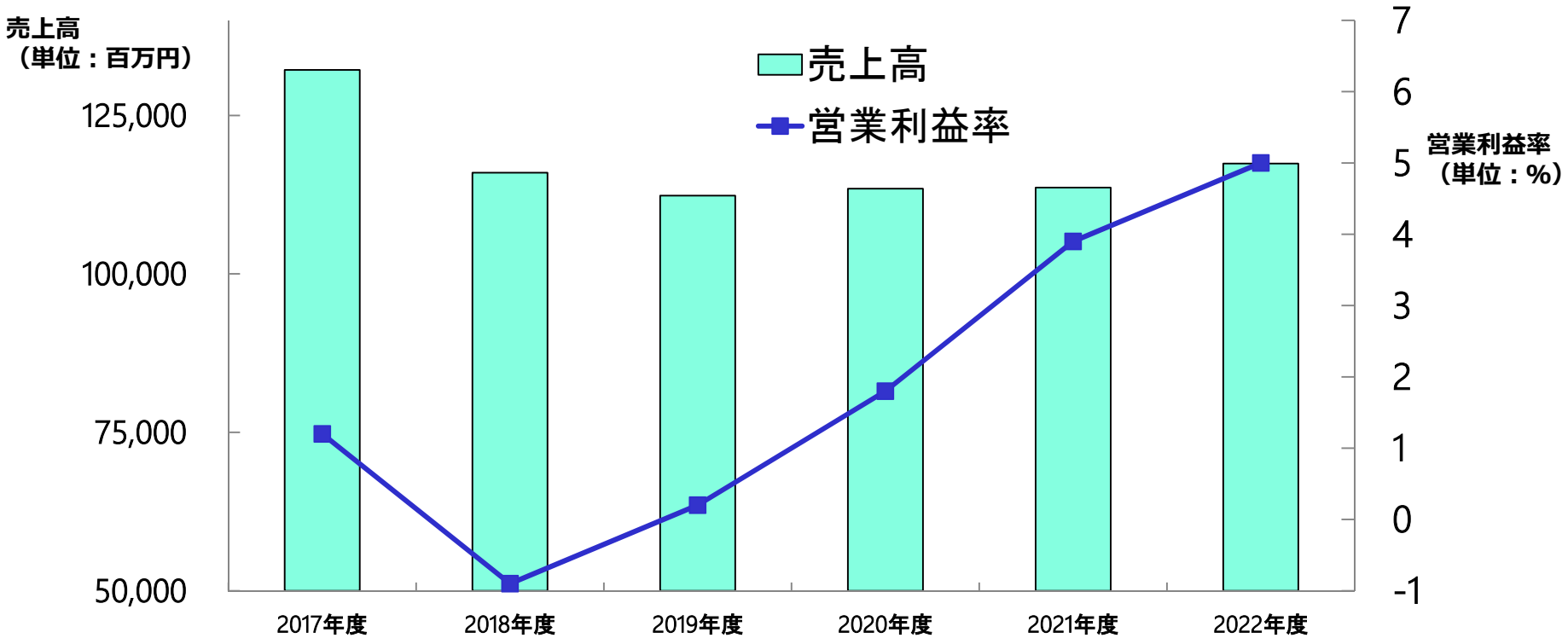
より選ばれる店作り

中期経営計画の達成

D2ケーヨーデイツー

2022年度を最終年度とした中期経営計画

売上高 1,170億円 営業利益率 5.0%



本資料は2019年9月27日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。
本資料に記載した内容は、資料作成時点での当社判断によるものであり、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
また、ここに記載された内容が予告なしに変更することもありますのでご了承下さい。